

平成 23 年度環境技術実証事業検討会 VOC 簡易測定技術分野
ワーキンググループ会合（第 3 回）
議事要旨

1. 日時：平成 23 年 12 月 6 日（火）14:00～16:00

2. 場所：アルカディア市ヶ谷 6 階 霧島（東）

3. 議題

- (1) 実証対象技術の募集の結果について
- (2) 環境技術実証事業 VOC 簡易測定分野の PR 資料(各国語案)の活用について
- (3) 今後の検討スケジュールについて
- (4) その他

4. 検討員出欠（敬称略）

出席：有菌幸司（座長）、岩崎好陽、斉藤龍司、坂本和彦、佐々木裕子、土井潤一

5. 配付資料一覧

- | | |
|--------|--|
| 資料 0-1 | VOC 簡易測定技術ワーキンググループ検討員名簿 |
| 資料 1-1 | 実証対象技術の募集の結果について |
| 資料 1-2 | 実証機関の選定及び実証対象技術の募集について（お知らせ）
（平成 23 年 10 月 24 日 報道発表資料） |
| 資料 2-1 | PR 資料の活用について |
| 資料 2-2 | 環境技術実証事業 VOC 簡易測定分野の PR 資料案(日本語) |
| 資料 2-3 | 環境技術実証事業 VOC 簡易測定分野の PR 資料案(英語) |
| 資料 2-4 | 環境技術実証事業 VOC 簡易測定分野の PR 資料案(中国語) |
| 資料 2-5 | 環境技術実証事業 VOC 簡易測定分野の PR 資料案(インドネシア語) |
| 資料 2-6 | 環境技術実証事業 VOC 簡易測定分野の PR 資料案(ベトナム語) |
| 資料 2-7 | 環境技術実証事業 VOC 簡易測定分野の PR 資料案(タイ語) |
| 資料 3 | 今後のスケジュールについて（予定） |

6. 議事

会議は公開で行われた。

(1) 実証対象技術の募集の結果について

- ・ 事務局より資料 1-1 に基づき、平成 23 年 10 月 24 日から 11 月 21 日の間、実証機関において実証対象技術の募集を実施したが、申請がなかったことが報告された。
- ・ その中で、過去に申請実績のある企業からのコメントとして、「手数料負担が厳しい。」「改良を実施しているが、未だ応募できる段階には至っていない。」「過去に応

募した技術以外の製品がない。」といった状況が示された。

- ・ VOC に関する製品全体については、規制に係る状況によって、市場での新製品等のニーズの減少につながっている可能性が提示された。

(2) 環境技術実証事業VOC簡易測定分野のPR資料(各国語案)の活用について

- ・ 事務局より資料 2-1 に基づき、PR 資料の活用について説明がなされた。
- ・ 資料 2-2 から 2-7 の各国語の PR 資料が紹介され、委員からはこれらの資料がアジアを中心とした国際展開において、非常に重要である旨の指摘があった。

(3) 今後の検討スケジュールについて

- ・ 事務局より、資料 3 に沿って今後のスケジュールについて紹介がなされた。
- ・ 事務局及び委員により、今後の事業運営について、議論が交わされた。その中で、対象を VOC に限ることなく、様々な化学物質の簡易測定技術全般を取り扱うことにしてはどうか、という意見が出された。
- ・ 対象物質については、範囲を制限しないと実証自体が難しくなるといった意見が出された一方、「におい」一般を対象とする考え方や作業環境レベルの濃度域を下回る室内環境について対象にすることなどが議論された。
- ・ 環境省における PR の重要性についてあらためて議論され、また次回ワーキンググループ会合までに対象についての調査・検討を実施すべき旨が示された。

(4) その他

- ・ 次回ワーキンググループ会合については、平成 23 年 3 月に開催される予定。

(文責：環境省総合環境政策局総務課環境研究技術室)